

青少年団体等顕彰

青少年育成茨城県民会議は、地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体・グループ及び青少年及び青少年育成指導者を顕彰しています。

表彰式は、平成24年3月22日(木)に開催した第49回通常総会の席上で行いました。

受賞された皆さんの今後のご活躍を期待するとともに、青少年健全育成活動が県内に広がっていくことを願っています。

平成23年度受賞者

区分	団体名	代表者名	所在地	活動の概要(推薦団体)
青少年団体	日立風流物保存会 西町支部 子ども鳴り物	舘澤 徹	日立市	「日立風流物」を継承するために設立し、定期的な練習を重ね、市内の各種行事に積極的に出演するなど活発な活動を展開している。(日立市青少年育成推進会議)
	茨城県立勝田工業高等学校 コンピュータ部	渋谷 都晃	ひたちなか市	多くの時間を準備に費やして地域のふれあいまつりに「ロボットコーナー」を出展し、多くの小中学生を楽しませている。(ひたちなか市市民憲章推進協議会)
	境町立境第二中学校 生徒会	吉岡 彩伽	境 町	国道沿いで年2回、手作りの啓発グッズを配布しながら「交通安全」の呼びかけを行うとともに、毎朝、校門で「あいさつ声かけ運動」を行っている。(青少年健全育成さかい町民の会)
青少年育成団体	見晴町町内会	南 繁三郎	結城市	下校時に小学校から見晴町町内まで児童の通学班に同行し、不審者遭遇防止の安全パトロールや交通安全指導等を行っている。(青少年育成結城市民会議)
	筑西市地域女性団体 連絡会	中島 和子	筑西市	市内の下館、明野、協和、関城地区内で、年間各10回、1歳から未就学児の親子を対象に、「子育て支援事業」等を行っている。(茨城県地域女性団体連絡会)
	境町朗読ボランティア すばる	酒井 基子	境 町	町内の全小学校で朝の読書時間に読み聞かせを行うとともに、町公民館において絵本と紙芝居の読み聞かせを行っている。(青少年健全育成さかい町民の会)

区分	氏名	住所	所属等	活動の概要(推薦団体)
青少年	後藤 優香	日立市	ガールスカウト茨城県 第10団リーダー	ガールスカウト各種事業へ積極的に活動するとともに地域においても社会奉仕活動等に参画している。(社)ガールスカウト日本連盟茨城県支部
	佐藤 奈奈	常陸 太田市	茨城県立太田第一高等 学校2年	市内の各種行事にボランティアとして積極的に参加するとともに、部活動ではキャプテンとして活躍するなど、その姿は、他に勇気を与えている。(茨城県高等学校長協会)
青少年育成指導者	八木岡 努	水戸市	前水戸一中学区青少年 育成会会長、 保護司	長年にわたり小中高的PTA会長を歴任するとともに、中学校区青少年育成会長として地域の青少年育成事業を数多く実施し、青少年健全育成運動に寄与した。(水戸市青少年育成推進会議)
	室岡 紀子	水戸市	ガールスカウト茨城県 第17回会計、 元県支部会計	長年にわたり第17回の会計に尽力している中で、県支部の会計も歴任するなどガールスカウト活動に貢献している。(社)ガールスカウト日本連盟茨城県支部
	大城 千秋	日立市	御諏訪太鼓少年部幹事、 諏訪学区子どもを守る 推進委員会委員長	長年にわたり小学生に伝統芸能の「御諏訪太鼓」の技術指導を行うとともに、地域の社会福祉施設への慰問活動などを行っている。(日立市青少年育成推進会議)
	河原 栄	日立市	ボーイスカウト日立 第8団団委員長、 県連盟第1地区副委員長	長年にわたり指導者としてボーイスカウト活動に尽力するとともに地域の多くの青少年育成事業に参画し、青少年の健全育成に寄与している。(日本ボーイスカウト茨城県連盟)
	小林 松造	結城市	-	家業である大工を活かし、市や地域の行事に無償で材料を提供しながら青少年に「手作り工作」を指導している。(青少年育成結城市民会議)
	坂野 茂実	常総市	前青少年育成常総市 民会議菅原支部長、 青少年相談員	長年にわたり支部長として、「あいさつ・声かけ運動」や歩く会等を実施し、青少年健全育成運動に寄与した。(青少年育成常総市市民会議)
	川村 啓三	取手市	取手市白山少年防火 クラブ部長	長年にわたり少年防火クラブの指導者として、少年とともに市の防火訓練やイベント等に参加し、地域の青少年の防火意識を育成している。(茨城県少年防火人防火災委員会)

感謝状贈呈

平成23年度青少年健全育成県民運動の推進に多大の功績のあった下記の団体に、感謝状を贈呈しました。

- ・青少年を育てるつくば市民の会
- ・つくばOAKライオンズクラブ
- ・(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー
- ・ライオンズクラブ国際協会333-E地区

青少年を取り巻く有害情報対策推進事業

茨城県(女性青少年課)と青少年育成茨城県民会議では、青少年をインターネット上の有害情報から守るために、昨年度に引き続き、文部科学省から委託を受け、携帯電話会社、県関係機関、県PTA連絡協議会や県メディア教育指導員連絡会などの関係団体で構成する実行委員会を組織して、青少年を取り巻く有害情報対策推進事業を実施しました。

今年度の事業内容は、11月にラジオCMの放送、電車内広告の掲出、タウン誌への情報掲載などを実施し、広く県民・保護者に向けてインターネット上の有害情報へのアクセスを制限するフィルタリングの普及啓発を図りました。また、各中学校におけるケータイの安全利用運動の促進を図るため、モデル校紹介リーフレットを作成し、県内の全中学生に配付するとともに、有害情報対策に係る最新知識の習得やプレゼンテーション能力の向上等を目的とした県メディア教育指導員スキルアップ研修会を実施しました。

主な実施内容

項目	内容
ラジオCMの放送	11月中、朝夕2回、茨城放送(IBC)において、スポットCMを放送した。
電車内広告の掲出	11月中、県内全路線で電車内広告を掲出した。
タウン誌広告掲載	11月にタウン誌3誌(常陽ウィークリー、よみうりタウンニュース、茨城朝日)に広告を掲載した。
モデル校紹介リーフレットの作成	生徒会等が中心となってケータイの安全安心な使い方に取り組んでいるモデル校(県内5中学校)の事例に基づく「事例紹介リーフレット」を作成し、県内全中学生に配付した。
県メディア教育指導員スキルアップ研修会	有害情報対策に係る最新知識の習得や、プレゼンテーション能力向上講座等の研修会を実施し、指導員の資質向上を図った。